

2 市町村の変遷

1 市町村別の状況

令和6年4月1日現在

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
ひろしまし 広島市	明治37年9月15日 安芸郡仁保島村字宇品の区域を編入 昭和4年4月1日 安芸郡矢賀村 〃 牛田村 〃 仁保村 (大正6年3月31日仁保島村を名称変更) 佐伯郡草津町 〃 己斐町 〃 古田村 安佐郡三篠町 (明治42年2月11日町制施行) (明治44年10月1日町制施行) (明治40年1月1日町制施行) 以上7か町村の地域を編入 昭和30年4月10日 安芸郡戸坂村を編入 昭和31年4月1日 安芸郡中山村を編入 昭和31年11月1日 佐伯郡井口村を編入 昭和46年4月1日 安佐郡沼田町を編入 (昭和30年4月1日伴村、戸山村を廃し、その地域をもって沼田町設置) 昭和46年5月20日 安佐郡安佐町を編入 (昭和30年3月31日鈴張村、飯室村、小河内村、日浦村、久地村を廃し、その地域をもって安佐町設置) 昭和47年4月1日 安佐郡可部町を編入 (昭和17年7月1日可部町、中原村を廃し、その地域をもって新たに可部町設置) (昭和30年3月31日可部町、亀山村、三入村、大林村を廃し、その地域をもって新たに可部町設置) 昭和47年8月27日 安佐郡祇園町を編入 (昭和13年1月1日町制施行) (昭和18年11月3日祇園町、長束村、山本村、原村を廃し、その地域をもって新たに祇園町設置) 昭和48年3月20日 安芸郡瀬野川町 (昭和31年9月30日畑賀村、中野村、瀬野村を廃し、その地域をもって瀬野川町設置) 安佐郡安古市町 (昭和18年10月1日古市町町制施行、名称変更) (昭和30年7月1日古市町、安村を廃し、その地域をもって安古市町設置) 〃 佐東町 (昭和30年7月1日川内村、八木村、緑井村を廃し、その地域をもって佐東町設置) 〃 高陽町 (昭和30年3月31日深川村、狩小川村、落合村、口田村を廃し、その地域をもって高陽町設置) 以上4か町の地域を編入 昭和48年10月22日 高田郡白木町を編入 (昭和31年9月30日井原村、志屋村、高南村、三田村を廃し、その地域をもって白木町を設置) 昭和49年11月1日 安芸郡安芸町 (昭和31年3月31日安芸郡温品村、安佐郡福木村を廃し、その地域をもって安芸町設置) 安芸郡熊野跡村 (昭和26年3月1日賀茂郡より編入) 以上2か町村を編入 昭和50年3月20日 安芸郡船越町 〃 矢野町 (昭和3年11月1日町制施行) (大正6年10月1日町制施行) 以上2か町を編入 昭和55年4月1日 政令指定都市に移行し、区制を敷く、7つの行政区を設置 (中区・東区・南区・西区・安佐南区・安佐北区・安芸区) 昭和58年9月1日 西区山田新町二丁目の区域の一部を佐伯郡五日市町への分離	4月1日広島区に市制施行 安芸郡矢賀村 〃 牛田村 〃 仁保島村 佐伯郡草津村 〃 己斐村 〃 古田村 沼田郡三篠村 安芸郡戸坂村 安芸郡中山村 安芸郡井口村 沼田郡伴村 〃 戸山村 高宮郡鈴張村 〃 飯室村 沼田郡小河内村 〃 日浦村 〃 久地村 高宮郡可部町 〃 中原村 〃 亀山村 〃 三入村 〃 大林村 沼田郡祇園村 〃 長束村 〃 山本村 〃 西原村 〃 東原村 安芸郡畑賀村 〃 中野村 〃 下瀬野村 〃 上瀬野村 高宮郡三川村 沼田郡安村 〃 川内村 〃 八木村 〃 緑井村 高宮郡深川村 〃 狩小川村 〃 口田村 高田郡井原村 〃 志屋村 〃 秋越村 〃 市川村 〃 有保村 〃 三田村 安芸郡温品村 高宮郡福木村 賀茂郡熊野跡村 安芸郡船越村 〃 矢野村	広島区 安芸郡矢賀村 〃 牛田村 〃 仁保島村 佐伯郡草津村庚午新開 〃 己斐村 〃 古田村山田村 沼田郡楠木村打越村 〃 新庄村 安芸郡戸坂村 安芸郡中山村 安芸郡井口村 沼田郡伴村大塚村 〃 阿戸村吉山村 高宮郡鈴張村 〃 飯室村 沼田郡小河内村 〃 毛木村宮野村 〃 後山村筒瀬村 〃 久地村 高宮郡可部町 〃 中島村中野村 〃 上原村城村 〃 勝木村大毛寺村 〃 四日市村今井田村 〃 綾ヶ谷村 〃 南原村上町屋村 〃 下町屋村桐原村 〃 大林村 沼田郡南下安村北下安村 〃 長束村 〃 東山本村西山本村 〃 西原村 〃 東原村 安芸郡畑賀村 〃 中野村 〃 下瀬野村 〃 上瀬野村 高宮郡中筋古市村 〃 東野村 沼田郡大町村上安村 〃 中須村高取村 〃 相田村長楽寺村 〃 温井村中調子村 〃 八木村 〃 緑井村 高宮郡中深川村下深川村 〃 諸木村岩上村 〃 末光村玖村 〃 狩留家村上深川村 〃 小河原村 〃 小田村矢口村 高田郡井原村 〃 志路村古屋村 〃 秋山村小越村 〃 市川村 〃 有保村保垣村 〃 三田村 安芸郡温品村 高宮郡馬木村福田村 賀茂郡熊野跡村 安芸郡船越村 〃 矢野村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	佐伯郡五日市町美鈴が丘東三丁目・美鈴が丘東四丁目の区域の一部を編入 昭 和 59 年 1 月 1 日 安芸区矢野西二丁目地先の公有水面の一部区域を安芸郡坂町へ分離 昭 和 60 年 3 月 20 日 安芸郡坂町字板見地先の公有水面の一部区域を編入 佐伯郡五日市町を編入、（昭和30年4月1日五日市町、河内村、観音村、八幡村、石内村を廃し、その地域をもって五日市町を設置） 佐伯区を設置 平 成 元 年 6 月 1 日 佐伯区屋代二丁目の区域の一部を廿日市市へ分離 廿日市市佐方字精石山の区域の一部を編入 平 成 17 年 4 月 25 日 佐伯郡湯来町を編入（昭和31年9月30日砂谷村、水内村、上水内村を廃し、その地域をもって湯来町を設置）	佐伯郡五海市村 〃 河内村 〃 観音村 〃 八幡村 〃 石内村 佐伯郡砂谷村 〃 水内村 〃 上水内村	佐伯郡五日市村 〃 海老塩浜村皆賀村 〃 上河内村下河内村 〃 上小深川村 〃 下小深川村 〃 千同村坪井村 〃 倉重村佐方村 〃 三宅村屋代村 〃 保井田村高井村 〃 利松村口和田村 〃 寺田村中地村 〃 石内村 佐伯郡白砂村伏谷村 〃 葛原村 〃 和田村下村 〃 麦谷村 〃 多田村菅沢村
くれし 呉市	明 治 35 年 10 月 1 日 安芸郡和庄町 〃 宮原村 〃 荘山田村 〃 二川町 （明治35年4月1日吉浦村より分離） 以上4か町村を廃し、その地域に市制施行、呉市設置 昭 和 3 年 4 月 1 日 安芸郡警固屋町（明治39年6月1日町制施行） 〃 吉浦町（大正5年2月11日町制施行） 賀茂郡阿賀町（明治30年5月1日町制施行） 以上3か町の地域を編入 昭 和 16 年 4 月 21 日 賀茂郡仁方町（明治40年1月1日町制施行） 〃 広村 以上2か町村の地域を編入 昭 和 31 年 10 月 1 日 安芸郡天応町（昭和26年11月3日大屋村に町制施行、名称変更） 安芸郡昭和村（昭和6年4月1日焼山村・本庄村のうち熊野町へ編入以外の区域で設置） 賀茂郡郷原村 以上3か町村の地域を編入 平 成 15 年 4 月 1 日 安芸郡下蒲刈町を編入（昭和37年1月1日下蒲刈島村に町制施行、名称変更） 平 成 16 年 4 月 1 日 豊田郡川尻町を編入（大正11年1月1日賀茂郡川尻村に町制施行） （昭和31年4月1日郡の再編成により豊田郡の所屬となる） （昭和33年4月1日安登村字水落・小用・滝王山の区域及び字寒風の区域の一部を編入） 平 成 17 年 3 月 20 日 安芸郡音戸町を編入（明治39年1月1日町制施行、名称変更） （昭和7年4月1日音戸町・渡子島村を廃し、その地域をもって音戸町設置） 〃 倉橋町を編入（昭和27年6月1日町制施行、名称変更） 〃 蒲刈町を編入（昭和31年9月30日上蒲刈村〔昭和22年8月1日下蒲刈島村〔ヒクベ〕を除いた向浦の区域を分離して設置〕・向村を廃し、その地域をもって蒲刈町設置） 豊田郡豊浜町を編入（昭和44年11月3日町制施行） 〃 豊町を編入（昭和31年3月11日久友村・大長村〔昭和16年2月20日ダイチョウウ村に改め、昭和22年8月9日オオチョウウ村に改める〕・御手洗町を廃し、その地域をもって豊町設置）	安芸郡和庄町 〃 宮原村 〃 荘山田村 安芸郡警固屋村 〃 吉浦村 賀茂郡阿賀村 賀茂郡仁方村 〃 広村 安芸郡大屋村 安芸郡焼山村 〃 本庄村 賀茂郡郷原村 安芸郡下蒲刈島村 賀茂郡川尻村 安芸郡瀬戸島村 〃 渡子島村 〃 倉橋島村 安芸郡上蒲刈島村 豊田郡豊浜村 〃 久友村 〃 大長村 〃 御手洗町	安芸郡和庄村 〃 宮原村 〃 荘山田村 安芸郡警固屋村 〃 吉浦村 賀茂郡阿賀村 賀茂郡仁方村 〃 広村 安芸郡大屋村 安芸郡焼山村 〃 栃原村苗代村 〃 押込村川角村 〃 平谷村 賀茂郡郷原村 安芸郡下蒲刈島村 賀茂郡川尻村 安芸郡瀬戸島村 〃 渡子島村 〃 倉橋島村 安芸郡蒲刈島村 豊田郡齊島村豊島村 〃 大浜村 〃 久比村沖友村 〃 大長村 〃 御手洗町

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	〃 安浦町を編入	(昭和19年 1 月 1 日賀茂郡野路町〔昭和17年 4 月 1 日野路村・中切村を廃し、その地域をもって新たに野路村設置〕・同郡内海町〔明治29年 1 月 1 日町制施行〕・同郡三津口町〔大正11年 1 月 1 日町制施行〕を廃し、その地域をもって賀茂郡安浦町設置)	賀茂郡野路村 〃 中切村 〃 内海村 〃 三津口村 〃 内海跡村	賀茂郡中畑村原畑村 〃 赤向坂村内平村 〃 女子畑村下垣内村 〃 中切村 〃 内海村 〃 三津口村 〃 内海跡村
たけはらし 竹原市	昭 和 33 年 11 月 3 日 豊田郡竹原町	(昭和27年 4 月 1 日竹原町・下野村を廃し、その地域をもって新たに賀茂郡竹原町設置) (昭和29年 3 月31日東野村・豊田郡大乘村・南方村字立石等の区域のうち一部を編入) (昭和30年 3 月31日竹原町・荘野村・豊田郡田万里村を廃し、その地区をもって新たに賀茂郡竹原町設置) (昭和31年 4 月 1 日郡の再編成により豊田郡の所属となる) (昭和31年 9 月30日吉名村・賀永村大字仁賀のうち賀茂郡西条町へ編入以外の区域を編入) (賀永村は昭和31年 4 月 1 日郡の再編成により豊田郡に編入) 豊田郡忠海町 以上 2 か町を廃し、その地域に市制施行、竹原市設置	賀茂郡竹原町 (4 月17日賀茂郡下市村が町制施行、名称変更) 〃 下野町 〃 東野村 豊田郡大乘村 賀茂郡荘野村 豊田郡田万里村 〃 吉名村 賀茂郡賀永村 豊田郡忠海町	賀茂郡下市村 〃 下野町 〃 東野村 豊田郡浦福田村高崎村 賀茂郡西野村新庄村 豊田郡田万里村 〃 吉名村 賀茂郡仁賀村上三永村 豊田郡忠海町
みはらし 三原市	(旧 三 原 市) 昭 和 11 年 11 月 15 日 御調郡三原町 〃 糸崎町 〃 山中村 〃 西野村 豊田郡田野浦村 〃 須波村 以上 6 か町村を廃し、その地域に市制施行、三原市設置 昭 和 26 年 4 月 1 日 御調郡深田村大字深の区域を編入 昭 和 28 年 3 月 22 日 御調郡八幡村 豊田郡長谷村 以上 2 か村の地域を編入 昭 和 29 年 4 月 1 日 豊田郡沼田東村 〃 沼田西村 〃 小泉村 以上 3 か村の地域を編入 昭 和 31 年 3 月 31 日 豊田郡高坂村を編入 昭 和 31 年 9 月 30 日 豊田郡幸崎町 〃 鷺浦村 以上 2 か町村の地域を編入 昭 和 34 年 4 月 1 日 高坂町真良 1 ～14までの区域を豊田郡本郷町へ分離 平 成 9 年 10 月 31 日 御調郡御調町大字丸門田字仲ノ町・大字植野字柳の区域の一部を編入 平 成 17 年 3 月 22 日 三原市 賀茂郡大和町	(明治45年12月11日名称変更) (明治36年 1 月 1 日字久和喜の区域を佐江崎村へ分離) (昭和26年 4 月 1 日大字小林・山中野・土取の区域を御調郡坂井原村へ分離した残部) (明治36年 1 月 1 日田野浦村字久和喜の区域を編入) (昭和 4 年 4 月 1 日町制施行、名称変更) (昭和30年 3 月31日豊田郡樫梨村・同郡大草村・同郡豊田村大字和木の区域及び大字小田の区域の一部・世羅郡神田村を廃し、その地域をもって豊田郡大和町設置)	御調郡三原町 〃 貢村 〃 山中村 〃 西野村 豊田郡田野浦村 〃 須波村 御調郡深田村 御調郡八幡村 豊田郡長谷村 豊田郡沼田東村 〃 沼田西村 〃 小泉村 豊田郡高坂村 豊田郡佐江崎村 〃 鷺浦村 豊田郡樫梨村 〃 大草村	御調郡三原町宮野浦村 〃 東野村木原村 〃 山中村 〃 西野村 豊田郡田野浦村 〃 須波村 御調郡深田村久山田村 御調郡宮内村簗村 〃 垣内村美生村 〃 屋中村野串村 〃 本庄村 豊田郡小坂村荻路村 〃 沼田下村 豊田郡七宝村本市村 〃 釜山村片島村 〃 末広村末光村 〃 両名村納所村 〃 惣定村松江村 〃 小原村 〃 小泉村 豊田郡許山村真良村 〃 土取村山中野村 〃 小林村 豊田郡能地村渡瀬村 〃 向田野浦村 〃 須波村佐木 豊田郡上草井村下草井村 〃 大具村椋梨村 〃 大草村平坂村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	(昭和31年4月1日郡の再編成により賀茂郡の所属となる) (昭和49年8月1日大字箱川の区域の一部を河内町へ分離。河内町大字小田の区域の一部を編入) (平成6年12月14日大字篠の区域の一部を世羅西町へ分離。世羅西町大字小国字南山の区域の一部を編入) 豊田郡本郷町 (昭和29年11月3日本郷町〔大正13年4月1日町制施行〕・船木村〔昭和26年11月3日字姥ヶ原の区域を大草村へ分離した残部〕・北方村〔昭和26年4月1日下北方村・上北方村・善入寺村を廃し、その地域をもって設置〕・南方村〔昭和29年3月31日賀茂郡竹原町へ分離した残部〕を廃し、その地域をもって本郷町設置) (昭和34年4月1日三原市高坂町真良1～14までの区域を編入) (昭和47年8月1日三原市高坂町真良の区域の一部を編入) 御調郡久井町 (昭和29年3月31日久井村〔昭和26年4月1日奥村大字野間の区域の一部を編入〕・羽和泉村・坂井原村〔昭和26年9月1日豊田郡高坂村大字小林・山中野・土取の区域を編入〕を廃し、その地域をもって久井町設置) 以上4か市町を廃し、その地域をもって三原市を設置	世羅郡神田村 豊田郡本郷村 〃 船木村 〃 下北方村 〃 上北方村 〃 善入寺村 〃 南方村 御調郡久井村 〃 羽和泉村 〃 坂井原村 豊田郡高坂村	世羅郡萩原村篠村 〃 萩原福田村上徳良村 〃 下徳良村蔵宗村 豊田郡本郷村 〃 船木村 〃 下北方村 〃 上北方村 〃 善入寺村 〃 南方村 御調郡江木村下津村 〃 吉田村筋原村 〃 泉村和草村 〃 羽倉村 〃 坂井原村 豊田郡小林村山中野村 〃 土取村許山村 〃 真良村
おのみちし 尾道市	明治31年4月1日 御調郡尾道町に市制施行 昭和12年4月1日 御調郡吉和村 (大正12年3月1日町制施行) 〃 栗原町 以上2か町村の地域を編入 昭和14年7月1日 沼隈郡山波村を編入 昭和26年4月1日 御調郡深田村大字久山田の区域を編入 昭和29年3月31日 御調郡美ノ郷村 〃 木ノ庄村 (昭和25年4月1日大字江田・国守の区域を市村へ編入した残部) 〃 原田村 以上3か村の地域を編入 昭和30年2月1日 沼隈郡高須村 〃 西村 以上2か村の地域を編入 昭和30年4月1日 沼隈郡百島村を編入 昭和30年7月15日 高須町・西藤町の区域の各一部を松永市へ分離 昭和32年1月1日 沼隈郡浦崎村を編入 昭和45年4月1日 御調郡向東町を編入 平成17年3月28日 御調郡御調町 (昭和30年2月1日菅野村・上川辺村・市村〔昭和25年4月1日木ノ庄村大字江田・国守の区域を編入〕・河内村・今津野村・奥村〔昭和26年9月1日大字野間の区域の一部を久井村へ分離〕・諸田村大字下山田・大山田・千堂の区域を廃し、その地域をもって御調町設置)	御調郡尾道町 御調郡吉和村 〃 栗原村 沼隈郡山波村 御調郡深田村 御調郡美ノ郷村 〃 木ノ庄村 〃 原田村 沼隈郡高須村 〃 西村 沼隈郡百島村 沼隈郡浦崎村 沼隈郡向島東村 御調郡菅野村 〃 上川辺村 〃 市村 〃 木之庄村 〃 河内村 御調郡今津野村	御調郡尾道町 御調郡吉和村 〃 栗原村 沼隈郡山波村 御調郡久山田村深村 御調郡三成村白江村 〃 本郷村中野村 〃 猪子迫村 〃 木門田村畑村 〃 市原村木梨村 〃 木梨山方村江田村 〃 国守村 〃 梶山田村小原村 沼隈郡高須村 〃 西村 沼隈郡百島村 沼隈郡浦崎村 沼隈郡向島東村 御調郡菅村大塔村 〃 平木村仁野村 〃 白太村中原村 〃 大町村大蔵村 〃 本村三郎丸村 〃 岩根村 〃 市村花尻村 〃 釜窪村平村 〃 高尾村神村 〃 貝ヶ原村 〃 江田村国守村 〃 丸河南村徳永村 〃 大田村丸門田村 御調郡今田村植野村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	御調郡向島町 (昭和31年9月30日大字太郎丸の区域を府中市へ分離) (平成9年10月31日三原市八幡町大字本庄字五郎丸・字糍屋の区域の一部を編入) (昭和25年10月1日町制施行、名称変更) (昭和29年3月31日岩子島村を編入) (昭和30年4月1日立花村を編入) 以上2か町の地域を編入 平成18年1月10日 因島市 (昭和28年5月1日御調郡土生町〔大正7年1月1日町制施行〕、同郡田熊町〔昭和24年4月1日町制施行〕、同郡三庄町〔大正6年1月1日町制施行、昭和23年5月3日三浦村大字棕之浦の区域を編入〕、同郡中庄村〔昭和23年5月3日三浦村大字鏡浦・外浦の区域を編入〕、同郡大浜村・同郡重井村、豊田郡東生口村を廃し、その地域に市制施行、因島市設置) 瀬戸田町 (昭和12年4月1日瀬戸田町、西生口村を廃し、その地域をもって新たに瀬戸田町設置) (昭和19年1月1日瀬戸田町、高根島村、名荷村、北生口村を廃し、その地域をもって新たに瀬戸田町設置) (昭和30年4月1日瀬戸田町、南生口村を廃し、その地域をもって新たに瀬戸田町設置) 以上2か市町の地域を編入	〃 奥村 〃 諸田村 〃 向島西村 〃 岩子島村 〃 立花村 御調郡土生村 〃 田熊村 〃 三庄村 〃 中庄村 〃 三浦村 〃 大浜村 〃 重井村 豊田郡東生口村 〃 瀬戸田町 〃 西生口村 〃 高根島村 〃 名荷村 〃 北生口村 〃 南生口村	〃 津蟹村福井村 〃 野間村 (山岡以外) 〃 大原村公丈村 〃 綾目村 〃 野間村 (山岡) 〃 下山田村大山田村 〃 千堂村諸毛村 〃 小国村 〃 向島西村 〃 岩子島村 〃 立花村 御調郡土生村 〃 田熊村 〃 三庄村 〃 中庄村 〃 棕之浦村鏡浦村 〃 外浦村 〃 大浜村 〃 重井村 豊田郡原村洲江村 〃 瀬戸田町沢村 〃 生口福田村垂水村 〃 高根島村 〃 名荷村 〃 林村生口中野村 〃 鹿田原村 〃 萩村宮原村 〃 御寺村
ふくやまし 福山市	昭和41年5月1日 福山市及び松永市を廃し、その地域をもって福山市設置 (松 永 市) 昭和29年3月31日 沼隈郡松永町 (明治33年8月31日町制施行) (昭和28年4月1日松永町、今津町を廃し、その地域をもって新たに松永町設置、今津町は大正15年11月1日町制施行) 〃 金江村 〃 柳津村 〃 藤江村 〃 神村 〃 本郷村 〃 東村 以上7か町村を廃し、その地域に市制施行、松永市設置 昭和30年7月15日 尾道市高須町・西藤町の区域の各一部を編入 (福 山 市) 大正5年7月1日 深安郡福山町 (大正2年4月1日野上村・三吉村の各地域を編入に市制施行)	沼隈郡松永村 〃 今津村 〃 金江村 〃 柳津村 〃 藤江村 〃 神村 〃 本郷村 〃 東村 深津郡福山町 〃 野上村 〃 三吉村	沼隈郡松永村 〃 今津村 〃 藁江村金見村 〃 柳津村 〃 藤江村 〃 神村 〃 本郷村 〃 東村 深津郡西町長者町 〃 道山町奈良屋町 〃 大工町医者町 〃 新町船町 〃 東町桶屋町 〃 上魚屋町下魚屋町 〃 大黒町本町 〃 神島町上市神島町 〃 神島町中市 〃 神島町下市中町 〃 福德町藺町 〃 今町鍛屋町 〃 深津町吉津町 〃 古吉津町胡町 〃 府中町笠岡町 〃 野上村 〃 三吉村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	昭 和 8 年 1 月 1 日 深安郡吉津村 〃 木之庄村 〃 本庄村 〃 奈良津村 〃 深津村 〃 手城村 〃 川口村 沼隈郡草戸村 〃 佐波村 〃 神島村 以上10か村の地域を編入	深津郡吉津村 〃 木之庄村 〃 本庄村 〃 奈良津村 〃 深津村 〃 手城村 〃 川口村 沼隈郡草戸村 〃 佐波村 〃 神島村	深津郡吉津村 〃 木之庄村 〃 本庄村 〃 奈良津村 〃 深津村 〃 手城村 〃 多治米村川口村 〃 新涯村 沼隈郡草戸村 〃 佐波村 〃 神島村
	昭 和 17 年 7 月 1 日 沼隈郡山手村 〃 郷分村 以上 2 か村の地域を編入	沼隈郡山手村 〃 郷分村	沼隈郡山手村 〃 郷分村
	昭 和 31 年 9 月 30 日 深安郡引野村 〃 市村 〃 千田村 〃 御幸村 (昭和13年10月 1 日森脇村・下岩成村・上岩成村・中津原村を廃し、その地域をもって御幸村設置) 沼隈郡津之郷村 〃 赤坂村 〃 瀬戸村 〃 熊野村 〃 水呑町 〃 鞆町 (昭和22年 8 月 1 日町制施行) (昭和17年 7 月 1 日鞆町・田尻村・走島村を廃し、その地域をもって新たに鞆町設置) 以上10か町村の地域を編入	深津郡引野村 〃 市村 〃 千田村 〃 森脇村 〃 下岩成村 〃 上岩成村 〃 中津原村 沼隈郡津之郷村 〃 赤坂村 〃 瀬戸村 〃 熊野村 〃 水呑村 〃 鞆町 〃 田尻村 〃 走島村	深津郡引野村 〃 市村沼田村 〃 戴路村千田村 〃 坂田村 〃 森脇村 〃 下岩成村 〃 上岩成村 〃 中津原村 沼隈郡津之郷村加屋村 〃 早戸村赤坂村 〃 長和村地頭分村 〃 山北村 〃 熊野村 〃 水呑村 〃 後地村鞆町 〃 田尻村 〃 走島村
	昭 和 37 年 1 月 1 日 深安郡深安町を編入 (昭和30年 3 月31日大津野村・坪生村・春日村を廃止、その地域をもって深安町を設置)	深津郡大津野村 〃 坪生村 〃 春日村	深津郡津之下村大門村 〃 野々浜村 〃 坪生村 〃 浦上村能島村 〃 吉田村宇山村
	昭 和 41 年 11 月 1 日 岡山県笠岡市茂平字堂面及び坂里の区域の各一部を編入 大門町野々浜字カチヤ坂の区域の一部を岡山県笠岡市へ分		
	昭 和 49 年 4 月 1 日 芦品郡芦田町を編入 (昭和30年 4 月 1 日有磨村、福相村を廃し、その地域をもって芦田町を設置)	芦田郡有磨村 〃 福相村	芦田郡柞磨村上有地村 〃 下有地村 〃 相方村福田村
	昭 和 50 年 2 月 1 日 深安郡加茂町 (昭和30年 3 月31日加茂村・山野村・広瀬村以上 3 か村を廃し、その地域をもって加茂町設置) 芦品郡駅家町 (昭和31年 9 月30日加法村大字下加茂の区域及び大字法成寺字鳥越の区域の一部を編入) (大正 2 年 7 月 1 日倉光村・中島村・江良村・坊寺村・万能倉村以上 5 か村を廃し、その地域をもって駅家村設置) (昭和22年11月 3 日町制施行) (昭和30年 1 月 1 日駅家町・宜山村・近田村・服部村以上 4 か町村を廃し、その地域をもって駅家町を設置) (昭和31年 9 月30日深安郡加法村のうち加茂町へ編入以外の区域を編入) 以上 2 か町の地域を編入	安那郡加茂村 〃 山野村 〃 広瀬村 〃 下加茂村 〃 法成寺村 品治郡倉光村 〃 中島村 〃 江良村 〃 坊寺村 〃 万能倉村 品治郡宜山村 〃 戸田村 〃 服部村	安那郡栗根村芦原村 〃 中野村上加茂村 〃 八軒屋村 〃 山野村矢川村 〃 北山村百谷村 〃 下加茂村 〃 法成寺村 品治郡倉光村 〃 中島村 〃 江良村 〃 坊寺村 〃 万能倉村 品治郡向永村大橋村 〃 今岡村上山守村 〃 下山守村 〃 近田村戸手村 〃 雨木村服部本郷村 〃 助元村新山村 〃 服部永谷村
	平 成 15 年 2 月 3 日 沼隈郡内海町 (明治30年 3 月31日横島村・田島村を廃し、その地域をもって内海町設置) 芦品郡新市町 (明治40年 1 月 1 日町制施行) (昭和24年 9 月 1 日福相村大字相方の区域を編入) (昭和30年 2 月 1 日新市町・常金丸村・戸手村・網引村を廃し、その地域をもって新たに新市町設置) (昭和34年 7 月 1 日藤尾村のうち神石郡三和町へ編入以外の区域を編入) 以上 2 か町の地域を編入	沼隈郡横島村 〃 田島村 品治郡新市村	沼隈郡横島村 〃 田島村 品治郡新市村
	平 成 17 年 2 月 1 日 沼隈郡沼隈町を編入 (昭和30年 3 月31日千年村・山南村を廃し、その地域をもって沼隈町設置)	沼隈郡千年村	沼隈郡常石村草深村 〃 能登原村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	平 成 18 年 3 月 1 日 深安郡神辺町を編入	（郡の統合：昭和31年10月1日深津郡・安那郡を廃し、その地域をもって深安郡設置） （昭和4年3月1日川北村、川南村を廃し、その地域をもって神辺町設置） （昭和29年3月31日神辺町、御野村、竹尋村〔昭和16年2月11日上竹田村・下竹田村・八尋村を廃止し、その地域をもって設置〕、湯田村、中条村、道上村を廃し、その地域をもって新たに神辺町設置）	〃 山南村 安那郡川北村 〃 川南村 〃 御野村 〃 上竹田村 〃 下竹田村 〃 八尋村 〃 湯田村 〃 中条村 〃 道上村	〃 上山南村中山南村 〃 下山南村 安那郡川北村 〃 川南村 〃 平野村上御領村 〃 下御領村 〃 上竹田村 〃 下竹田村 〃 八尋村 〃 湯野村箱田村 〃 徳田村 〃 西中条村東中条村 〃 三谷村 〃 十九軒屋村 〃 十三軒屋村道上村
ふちゅうし 府中市	昭 和 29 年 3 月 31 日 芦品郡府中町 〃 岩谷村 芦品郡広谷村 〃 国府村 〃 栗生村 〃 下川辺村 以上6か町村を廃し、その地域に市制施行、府中市設置 昭 和 31 年 9 月 30 日 芦品郡河佐村 御調郡諸田村 〃 御調町大字三郎丸の区域 以上3か町村の地域を編入 昭 和 50 年 2 月 1 日 芦品郡協和村を編入 平 成 16 年 4 月 1 日 甲奴郡上下町を編入	（大正12年4月1日栗生村大字土生の区域の一部を編入） （大正14年2月1日府中町・出口町を廃し、その地域をもって新たに府中町設置） （大正12年4月1日府中町・出口町を廃し、その地域をもって新たに府中町設置） （昭和24年4月1日御調郡より編入） （昭和30年2月1日御調郡へ合併した残部） （昭和30年3月31日阿字村・大正村以上2か村を廃し、その地域をもって協和村設置同日名称変更） （明治30年5月7日町制施行） （昭和29年3月31日上下町・矢野村・清嶽村〔明治28年10月1日佐倉村・井永村・水永村・斗升村・岡屋村を廃し、その地域をもって設置〕・吉野村〔明治28年10月1日二森村・小塚村・小堀村・有福村を廃し、その地域をもって設置〕・階見村のうち神石郡高蓋村へ編入以外の区域以上5か町村を廃し、その地域をもって新たに上下町設置） （昭和30年3月17日字斗升の区域の一部を芦品郡阿字村へ分離、字斗升の区域の一部を芦品郡大正村へ分離） （昭和32年6月10日世羅郡甲山町大字松崎の区域を編入）	芦田郡府中町 〃 出口村 〃 岩谷村 芦品郡広谷村 〃 国府村 〃 栗生村 御調郡下川辺村 芦田郡河佐村 御調郡諸田村 芦田郡阿字村 〃 木野山村 〃 行藤村 〃 桑木村 甲奴郡上下村 〃 矢野村 〃 佐倉村 〃 井永村 〃 水永村 〃 斗升村 〃 岡屋村 〃 二森村 〃 小塚村 〃 小堀村 〃 有福村 〃 階見村	芦田郡府中市村 〃 出口村 〃 荒谷村上山村 〃 目崎村父石村 芦品郡広谷村町村 〃 本山村 〃 府川村高木村 〃 中須村 〃 土生村栗柄村 御調郡篠根村僧殿村 〃 河面村河南村 芦田郡久佐村河面村 御調郡諸毛村小国村 〃 大山田村下山田村 〃 千堂村 芦田郡阿字村 〃 木野山村 〃 行藤村 〃 桑木村 甲奴郡上下村 〃 深江村矢野村 〃 国留村矢多田村 〃 佐倉村 〃 井永村 〃 水永村 〃 斗升村 〃 岡屋村 〃 二森村 〃 小塚村 〃 小堀村 〃 有福村 〃 階見村
みよしし 三次市	平 成 16 年 4 月 1 日 三次市	（別記）		

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市 郡町村	明治21年当時の郡町村
	甲奴郡甲奴町	(昭和30年 3 月31日甲奴村・上川村のうち双三郡吉舎町への編入以外の区域以上 2 か村を廃し、その地域をもって甲奴町設置)	甲奴郡福田村 〃 西野村 〃 梶田村 〃 本郷村 〃 太郎丸村 〃 知和村 〃 安田村 〃 抜湯村 〃 有田村 世羅郡広定村	甲奴郡福田村 〃 西野村 〃 梶田村 〃 本郷村 〃 太郎丸村 〃 知和村 〃 安田村 〃 抜湯村 〃 有田村 世羅郡小童村宇賀村
	双三郡	(明治31年10月 1 日三次郡・三谿郡を廃し、その地域をもって双三郡設置)		
	〃 君田村	(昭和27年 8 月 1 日大字東入君字橋堅の区域を比婆郡口南村へ分離。その地域をもって双三郡設置)	三次郡君田村	三次郡樫田村茂田村 〃 泉吉田村東入君村 〃 西入君村藤兼村 〃 石原村
	〃 布野村		〃 布野村	〃 上布野村下布野村 〃 戸河内村横谷村
	〃 作木村		〃 作木村	〃 大畠村大津村 〃 森山東村光守村 〃 井賀和志村香淀村 〃 岡三淵村森山西村 〃 門田村西野村 〃 森山中村大山村 〃 上作木村下作木村
	〃 吉舎町	(大正 9 年10月 1 日町制施行)	三谿郡吉舎村	三谿郡吉舎村敷地村 〃 矢井村矢野地村 〃 三玉村海田原村 〃 安田村
		(昭和28年 2 月11日吉舎町・八幡村を廃し、その地域をもって新たに吉舎町設置)	〃 八幡村	〃 丸田村檜山村 〃 吉舎川の内村辻村 〃 雲通村清網村
		(昭和30年 3 月31日甲奴郡上川村大字知和の区域及び大字安田・太郎丸の区域の各一部を編入)		
		(昭和30年11月 3 日大字知和の区域の一部を三良坂町へ分離)		
		(昭和32年 1 月10日世羅郡世羅町大字徳市の区域の一部を編入)		
		(昭和36年 4 月 1 日甲奴郡甲奴町大字宇賀の区域の一部を編入)		
	〃 三良坂町	(大正10年 6 月 1 日町制施行)	〃 三良坂村	〃 三良坂村田利村 〃 長田村岡田村
		(昭和 7 年 1 月 1 日三良坂町・萩原町を廃し、その地域をもって新たに三良坂町設置)	〃 萩原村	〃 灰塚村藁原村 〃 大谷村仁賀村 〃 光清村
		(昭和29年11月 3 日三次市皆瀬町の区域及び向江田町字中之尾・横蔵の区域の各一部を編入)		
		(昭和30年11月 3 日吉舎町大字知和の区域の一部を編入)		
		(平成 8 年 3 月21日大字長田字道之上の区域の一部を三次市へ分離)		
		(平成 8 年 3 月21日三次市大田幸町の区域の一部を編入)		
		(平成 9 年 5 月28日三次市向江田町の区域の一部を編入)		
	〃 三和町	(昭和30年 3 月31日板木村・世羅郡津名村大字敷名の区域・世羅郡上山村のうち豊田郡豊栄町へ編入以外の区域を廃し、その地域をもって三和町設置)	三次郡板木村	三次郡羽出庭村下板木村 〃 上板木村大力谷村 〃 福田村
		(昭和30年11月 3 日川西村大字有原の区域の一部を編入)		
		(昭和33年 4 月 1 日三次市有原町の区域の一部を編入)		
		(昭和49年 8 月 1 日世羅郡世羅西町大字黒川字鎌木の区域の一部を編入)	世羅郡津名付 〃 上田村	世羅郡敷名村 〃 上壺村飯田村
		(昭和58年 3 月 1 日大字上壺字彌波羅・中山の区域の一部を世羅郡世羅西町へ分離)		
		(昭和58年 3 月 1 日世羅郡世羅西町大字中字国実通の区域の一部を編入)		
	以上 8 か市町を廃し、その地域をもって新たに三次市を設置 (旧 三 次 市)			

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	昭 和 29 年 3 月 31 日	双三郡三次町 (昭和23年12月 1 日河内村大字日下・三原・山家の区域を編入) (大正 6 年 5 月 1 日町制施行名更) (昭和12年 3 月 1 日十日市町八次村を廃し、その地域をもって新たに十日市町設置) (昭和25年 4 月 1 日大字東酒屋字吉カ谷の区域を神杉村へ分離) (昭和23年12月 1 日大字日下・三原・山家の区域を三次町へ分離) (昭和25年 4 月 1 日酒河村大字東酒屋字吉カ谷の区域を編入) (昭和25年 4 月 1 日高田郡より編入) 以上 8 か町村を廃し、その地域に市制施行、三次市設置	三次郡三次町 〃 原村 〃 八次村 〃 酒河村 〃 河内村 三谿郡和田村 〃 神杉村 〃 田幸村 高田郡栗屋村	三次郡三次町 〃 原村 〃 南畠敷村畠敷村 〃 四十貫村後山村 〃 東酒屋村西酒屋村 〃 青河村 〃 日下村三原村 〃 山家村小文村 〃 西河内村穴笠村 〃 東河内村 三谿郡向江田村和知村 〃 皆瀬村 〃 高杉村江田川ノ内村 〃 廻神村 〃 糸井村大田幸村 〃 小田幸村志幸村 〃 大乘村 高田郡栗屋村
	昭 和 29 年 11 月 3 日	皆瀬町の区域及び向江田町字中之尾・横蔵の区域の各一部を双三郡三良坂町へ分離 高田郡船佐村大字船木の区域の一部を編入		
	昭 和 31 年 9 月 30 日	双三郡川地村を編入 (昭和26年 9 月 1 日高田郡甲立町大字秋町の区域を編入)	三次郡川地村	三次郡上川立村下川立村 〃 上志和地村下志和地村
	昭 和 33 年 2 月 11 日	双三郡川西村を編入 (昭和30年11月 3 日大字有原の区域の一部を三和町へ分離した残部)	三谿郡川西村	三谿郡三若村上田村 〃 有原村石原村 〃 海渡村
	昭 和 33 年 4 月 1 日	有原町の区域の一部を双三郡三和町へ分離		
	平 成 8 年 3 月 21 日	大田幸町の区域の一部を三良坂町へ分離 三良坂町大字長田字道之上の区域の一部を編入		
	平 成 9 年 5 月 28 日	三良坂町大字三良坂字下新開の区域の一部を編入		
	平 成 11 年 11 月 30 日	上川立町の区域の一部を甲田町へ分離 甲田町大字高田原字行久の区域の一部を編入		
しょうばらし 庄原市	(旧 庄 原 市)			
	昭 和 29 年 3 月 31 日	比婆郡庄原町 〃 高村 〃 本田村 (昭和17年 2 月 11 日本村・峰田村を廃し、その地域をもって設置) 〃 敷信村 〃 山内東村 〃 山内西村 〃 山内北村 以上 7 か町村を廃し、その地域に市制施行、庄原市設置	三上郡庄原町 〃 高村 〃 本村 〃 峰田村 〃 敷信村 惠蘇郡山内東村 〃 山内西村 〃 山内北村	三上郡庄原村川手村 〃 永末村宮内村 〃 高村小用村 〃 川西村大久保村 〃 本村上谷村 〃 峰村春田村 〃 板橋村実留村 〃 新庄村一木村 〃 是松村高門村 惠蘇郡三日市村戸郷村 〃 上原村下原村 〃 田原村市村 〃 殿垣内村尾引村 〃 水越村本郷村 〃 高茂村本戸村 〃 上村下村 〃 川北村濁川村 〃 門田村
	昭 和 40 年 4 月 1 日	濁川町字藤根の一部及び同町字戸谷山の一部を比婆郡口和町へ分離		
	平 成 17 年 3 月 31 日	庄原市 甲奴郡総領町 (昭和30年 3 月 31 日領家村〔大正 2 年 2 月 1 日五箇村・黒目村・亀谷村・上領家村・中領家村を廃し、その地域をもって設置〕・田総村〔明治45年 1 月 1 日稲草村・下領家村・木屋村を廃し、その地域をもって設置〕を廃し、その地域をもって総領町を設置) (郡の統合) (明治31年10月 1 日奴可部・三上郡・惠蘇郡を廃し、その地域をもって比婆郡設置) (明治31年 2 月 10 日町制施行) (昭和17年 2 月 11 日西城町・美古登村を廃し、その地域をもって西城町設置)	甲奴郡五箇村 〃 黒目村 〃 亀谷村 〃 上領家村 〃 中領家村 〃 稲草村 〃 下領家村 〃 木屋村 奴可郡西城村 〃 美古登村	甲奴郡五箇村 〃 黒目村 〃 亀谷村 〃 上領家村 〃 中領家村 〃 稲草村 〃 下領家村 〃 木屋村 奴可郡西城村入江村 〃 平子村栗村 〃 大佐村 〃 中野村大屋村 〃 八鳥村熊野村 〃 中迫村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	〃 東城町	(昭和29年 3 月31日西城町・八銚〔昭和28年12月 1 日大字油木字三井野の区域の一部を島根県仁多郡八川村へ分離〕を廃し、その地域をもって西城町設置) (明治31年 2 月10日町制施行)	〃 八銚村 〃 東城村	〃 小島原村三坂村 〃 油木村高尾村 〃 東城村福代村 〃 川西村川東村 〃 戸字村 〃 小奴可村塩原村 〃 加谷村千鳥村 〃 内堀村小串村
	〃 口和町	(昭和30年 4 月 1 日口南村〔昭和27年 8 月 1 日双三郡君田村大字東入君字橋堅の区域を編入〕・口北村を廃し、その地域をもって口和村設置) (昭和35年 4 月 1 日町制施行)	〃 八幡村 〃 田森村 〃 久代村 〃 帝釈村 恵蘇郡口南村	〃 川鳥村保田村 〃 森村田黒村 〃 菅村愛原村 〃 栗田村竹森村 〃 久代村 〃 未渡村山中村 〃 始終村宇山村 恵蘇郡永田村常定村 〃 金田村湯木村
	〃 高野町	(昭和40年 4 月 1 日庄原市濁川町字藤根の一部及び同町字戸谷山の一部を編入) (昭和30年 1 月 1 日上高野山村〔明治35年 6 月20日高野山村のうち下高野山村を設置した以外の区域をもって設置〕・下高野山村〔明治35年 6 月20日高野山村大字奥門田・中門田・下門田・上里原・高暮・岡大内の区域をもって設置〕を廃し、その地域をもって高野町設置)	〃 口北村 〃 高野山村	〃 向原村大月村 〃 竹地谷村宮内村 〃 新市村上湯川村 〃 下湯川村和南原村 〃 南村 〃 奥門田村中門田村 〃 下門田村上里原村 〃 高暮村岡大内村
	〃 比和町	(昭和 8 年 1 月 1 日町制施行)	〃 比和村	〃 比和村森脇村 〃 木屋原村古頃村 〃 三河内村
	以上 7 か市町を廃し、その地域をもって庄原市を設置			
	おおたけし 大竹市	昭 和 29 年 9 月 1 日 佐伯郡大竹町 佐伯郡玖波町 〃 小方町 〃 栗谷村 〃 友和村大字松ヵ原の区域 以上 5 か町村を廃し、その地域に市制施行、大竹市設置 昭 和 58 年 6 月 1 日 玖波町鳴川・玖波三丁目の区域の一部を佐伯郡大野町へ分 佐伯郡大野町字鳴川の区域の一部を編入	(明治44年 1 月 1 日町制施行) (昭和 4 年 4 月 1 日油見村を編入) (昭和26年 4 月 1 日木野村を編入) (大正13年 6 月 1 日町制施行) (昭和26年 2 月11日町制施行) 	

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	〃 志和町	(昭和30年 8 月 1 日東志和村、西志和村、志和堀村を廃し、その区域をもって志和町設置)	〃 東志和村 〃 西志和村	〃 志和東村内村 〃 志和西村冠村
	〃 高屋町	(昭和29年 3 月31日東高屋村、西高屋村を廃し、その区域をもって高屋村設置) (昭和30年 3 月31日小谷村を編入) (昭和30年 3 月31日町制施行) (昭和33年 1 月 1 日造賀村を編入)	〃 志和堀村 〃 東高屋村 〃 西高屋村	〃 別府村七条栴坂村 〃 奥屋村 〃 志和堀村 〃 白市村貞重村 〃 重兼村高屋堀村 〃 高屋東村 〃 檜山村大畠村 〃 稲木村宮領村 〃 中島村郷村 〃 杵原村溝口村 豊田郡小谷村 賀茂郡造賀村
	以上4か町を廃し、その地域に市制施行、東広島市設置		豊田郡小谷村 賀茂郡造賀村	豊田郡小谷村 賀茂郡造賀村
	平成 5 年 12 月 7 日	西条町大字馬木の区域の一部を黒瀬町へ分離 黒瀬町大字国近字磯松字寺山及び大字宗近柳国字向井・字門脇・字上ノ畑・字河本の区域の一部を編入		
	平成 17 年 2 月 7 日	賀茂郡黒瀬町	賀茂郡上黒瀬村 〃 乃美尾村 〃 中黒瀬村	賀茂郡南方村宗近柳国村 〃 乃美尾村 〃 大多田村丸山村 〃 檜原村兼広村 〃 切田村市飯田村 〃 上保田村川角村 〃 菅田村
		(昭和29年 3 月31日上黒瀬村・乃美尾村〔昭和26年 5 月 1 日中黒瀬村大字丸山字上野原の区域の一部を編入〕[昭和26年 5 月 1 日字坊地原の区域の一部を中黒瀬村へ分離])・中黒瀬村〔昭和26年 5 月 1 日大字丸山字上野原の区域の一部を乃美尾村へ分離。昭和26年 5 月 1 日乃美尾村字坊地原の区域の一部を編入〕・下黒瀬村を廃し、その地域をもって黒瀬町設置)		
		(昭和30年 3 月31日板城村大字国近・小多田の区域を編入) (平成 5 年12月 7 日大字国近字磯松・字寺山及び大字宗近柳国字向井・字門脇・字上ノ畑・字河本の区域を東広島市へ分離) (平成 5 年12月 7 日東広島市西条町大字馬木の区域の一部を編入)	〃 下黒瀬村	〃 津江村兼沢村
	賀茂郡福富町	(昭和30年 7 月10日豊田郡竹仁村・久芳村を廃し、その地域をもって豊田郡福富町設置) (昭和31年 4 月 1 日郡の再編成により賀茂郡の所属となる) (昭和33年 4 月 1 日河内町大字戸野の区域の一部を編入、同時に大字上戸野の区域を画す) (昭和33年 8 月 1 日大字上戸野字金堀・大垣・上名郷の区域及び字名郷谷・黄幡・貝ノ峠の区域の一部を河内町へ分離。河内町大字戸野字五郎衛の区域の一部を編入) (昭和46年 8 月 1 日大字久芳字広田の区域の一部を豊栄町へ分離。豊栄町大字乃美字木戸ヶ岡の区域の一部を編入) (昭和63年 9 月 1 日大字久芳字岡ヶ丸の区域の一部を豊栄町へ分離。豊栄町大字能良の区域の一部を編入)	豊田郡竹仁村 〃 久芳村	豊田郡上竹仁村下竹仁村 〃 久芳村
	〃 豊栄町	(昭和19年 1 月 1 日豊田郡乃美村・川源村を廃し、その地域をもって豊田郡豊栄村設置) (昭和24年 4 月 1 日町制施行)	〃 乃美村 〃 川源村	〃 乃美村能良村 〃 別府村 〃 清武村鍛冶屋村 〃 安宿村
	〃 河内町	(昭和30年 3 月31日世羅郡吉川村大字吉原の区域の一部及び同郡上山村大字飯田の区域の一部を編入) (昭和31年 4 月 1 日郡の再編成により賀茂郡の所属となる) (昭和46年 8 月 1 日大字乃美字木戸ヶ岡の区域の一部を福富町へ分離。福富町大字久芳字広田の区域の一部を編入) (昭和63年 9 月 1 日大字能良の区域の一部を福富町へ分離。福富町大字久芳字岡ヶ丸の区域の一部を編入。向原町大字坂の区域の一部を編入) (昭和30年 3 月31日豊田郡河内町〔大正13年 4 月 1 日町制施行・名称変更〕・同郡戸野村〔昭和25年 6 月10日大字造賀の	〃 大河村 〃 戸野村	〃 下河内村中河内村 〃 上河内村河戸村 〃 戸野村字山村 〃 造賀村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
		区域を賀茂郡造賀村へ分離した残部〕・豊田村のうち大和町へ合併以外の区域〔豊田村は昭和11年3月10日大字小田字東野路の区域の一部を榎梨村へ分離、昭和11年3月10日榎梨村大字椋梨字水越上野地の区域の各部を編入〕を廃し、その地域をもって豊田郡河内町設置) (昭和31年4月1日郡の再編成により賀茂郡の所属となる) (昭和31年9月30日入野村編入〔昭和31年4月1日郡の再編成により賀茂郡の所属となる〕) (昭和33年4月1日大字戸野の区域の一部を福富町へ分離) (昭和33年8月1日大字戸野字五郎衛の区域の一部を福富町へ分離。福富町大字上戸野字金堀・大垣・上名郷の区域及び字名郷谷・黄幡・貝ノ峠の区域の一部を編入 (昭和49年8月1日大字小田の区域の一部を大和町へ分離。大和町大字箱川の区域の一部を編入) (昭和18年1月1日賀茂郡早田原村・同郡三津町〔明治26年4月12日町制施行〕・豊田郡木谷村を廃し、その地域をもって賀茂郡安芸津町設置) (昭和31年4月1日郡の再編成により豊田郡の所属となる) 豊田郡安芸津町 以上5か町の地域を編入	〃 豊田村 賀茂郡早田原村 〃 三津町 豊田郡木谷村	〃 和木村小田村 賀茂郡風早村大田村 〃 小松原村 〃 三津町 豊田郡木谷村
はつかいちし 廿日市市	昭 和 31 年 9 月 30 日 廿日市町 平良村 原村 宮内村 地御前村 以上5か町村を廃し、その地域をもって新たに廿日市町設置 昭 和 32 年 6 月 10 日 五日市町大字佐方の区域の一部を編入 昭 和 52 年 6 月 1 日 大野町字福面83の8の区域を編入 昭 和 60 年 4 月 1 日 地御前字阿品・字阿品台の区域の一部を大野町へ分離 大野町字福面の区域の一部を編入 昭 和 63 年 4 月 1 日 市制施行 平 成 元 年 6 月 1 日 佐方字精石山の区域の一部を広島市へ分離 広島市佐伯区屋代二丁目の区域の一部を編入 平 成 15 年 3 月 1 日 佐伯郡佐伯町 佐伯郡吉和村 以上2か町村の地域を編入 平 成 17 年 11 月 3 日 佐伯郡大野町 佐伯郡宮島町 以上2か町の地域を編入	(昭和30年4月1日玖島村・浅原村・津田村・四和村・友和村を廃し、その地域をもって佐伯町設置) (昭和57年4月1日名称変更) 佐伯郡玖島村 〃 浅原村 〃 津田村 〃 四和村 〃 友原村 〃 三和村 〃 吉和村 安芸郡大野村 佐伯郡厳島町	佐伯郡廿日市町 〃 平良村 〃 原村 〃 宮内村 〃 地御前村 佐伯郡玖島村 〃 浅原村 〃 津田村 〃 蟲所山村飯山村 〃 中道村栗栖村 〃 友田村河津原村 〃 永原村 〃 峠村渡瀬村 〃 松ヶ原村 〃 吉和村 安芸郡大野村 佐伯郡厳島村	
あきたかたし 安芸高田市	平 成 16 年 3 月 1 日 高田郡吉田町	(昭和28年4月1日吉田町・丹比村・可愛村・郷野村を廃し、その地域をもって新たに吉田町設置〔昭和4年3月1日高原村は廃村〕)	高田郡吉田村 〃 丹比村	高田郡吉田村 〃 相合村西浦村 〃 山部村多治比村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	高田郡八千代町 (昭和37年4月1日美土里町大字本郷の区域の一部を編入) (昭和62年9月1日大字国司の区域の一部を甲田町へ分離) (昭和62年9月1日甲田町大字上小原の区域の一部を編入) (平成2年12月1日大字長屋字上甲元・西甲元の区域の一部を八千代町へ分離) (平成2年12月1日八千代町大字勝田字北原の区域の一部を編入) (昭和30年3月31日刈田村・根野村を廃し、その地域をもって、八千代町設置) 美土里町 (昭和35年4月1日町制施行) (平成2年12月1日大字勝田字北原の区域の一部を吉田町へ分離) (平成2年12月1日吉田町大字長屋字上甲元・西甲元の区域の一部を編入) (昭和31年4月1日横田村・本村・北村・生桑村を廃し、その地域をもって、美土里町設置) 高宮町 (昭和37年4月1日大字本郷の区域の一部を吉田町へ分離) (昭和31年9月30日川根村・来原村・船佐村を廃し、その地域をもって高宮町設置) 甲田町 (昭和61年9月1日大字房後の区域の一部を甲田町へ分離) (昭和61年9月1日甲田町大字稼地の区域の一部を編入) (昭和31年4月1日甲立町・小田村を廃し、その地域をもって甲田町設置) 向原町 (昭和61年9月1日大字稼地の区域の一部を高宮町へ分離) (昭和61年9月1日高宮町大字房後の区域の一部を編入) (昭和62年9月1日大字上小原の区域の一部を吉田町へ分離) (昭和62年9月1日吉田町大字国司の区域の一部を編入) (平成4年6月1日大字上小原の区域の一部を向原町へ分離) (平成4年6月1日向原町大字戸島の区域の一部を編入) (平成11年11月30日大字高田原字行久の区域の一部を三次市へ分離) (平成11年11月30日三次市上川立町の区域の一部を編入) (昭和4年4月1日坂村・長田村・戸島村を廃し、その地域をもって向原村設置) (昭和12年4月1日町制施行) (昭和29年3月31日有保村のうち高南村へ編入以外の区域を編入) (昭和63年9月1日大字坂の区域の一部を豊栄町へ分離) (平成4年6月1日大字戸島の区域の一部を甲田町へ分離) (平成4年6月1日甲田町大字上小原の区域の一部を編入) 以上6か町を廃し、その地域をもって安芸高田市設置	可愛村 郷野村 高原村 高田郡刈田村 根野村 横田村 本村 北村 生桑村 高田郡川根村 来原村 船佐村 甲立村 小田村 坂村 長田村 戸島村	中馬村川本村 山手村常友村 常楽寺村 上入江村桂村 長屋村高野村 下入江村福原村 竹原村小山村 国司村 高田郡佐々井村勝田村 土師村 向山村上根村 下根村 横田村 本村 北村 生田村桑田村 高田郡川根村 原田村来女木村 羽佐竹村房後村 佐々部村船木村 稼地村浅塚村 深瀬村秋町村 上甲立村下甲立村 高田原村下小原村 上小原村 坂村 長田村 戸島村
えたじまし 江田島市	平成16年11月1日 安芸郡江田島町 (大正14年2月1日佐伯郡津久茂村を編入) (昭和26年10月1日町制施行)	安芸郡江田島村 佐伯郡津久茂村	安芸郡江田島村 佐伯郡津久茂村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	佐伯郡能美町（昭和30年4月1日高田村・中村・鹿川村〔昭和26年1月1日町制施行〕を廃し、その地域をもって能美町設置） 〃 沖美町（昭和31年9月30日三高村・沖村を廃し、その地域をもって沖美町設置） 〃 大柿町（昭和29年11月3日大柿町〔昭和2年8月1日町制施行〕・深江村・飛渡瀬村を廃し、その地域をもって大柿町設置） 以上4か町を廃し、その地域をもって江田島市を設置	〃 高田村 〃 中村 〃 鹿川村 〃 三高村 〃 沖村 〃 大柿村 〃 深江村 〃 飛渡瀬村	〃 高田村 〃 中村 〃 鹿川村 〃 三吉村高祖村 〃 是長村畑村 〃 岡大王村 〃 大原村大君村 〃 小古江村柿浦村 〃 深江村 〃 飛渡瀬村
あきぐん 安芸郡 ふちゅうちょう 府中町	昭和12年1月1日 町制施行	安芸郡府中村	安芸郡府中村
かいたちょう 海田町	昭和31年9月30日 海田市町 東海田町（昭和27年6月1日町制施行、名称変更） 以上2か町を廃し、その地域をもって海田町設置	安芸郡海田市町 〃 奥海田村	安芸郡海田市村 〃 奥海田村
くまのちょう 熊野町	大正7年10月1日 町制施行 昭和6年4月1日 本庄村大字平谷・川角の区域を編入	安芸郡熊野村 安芸郡本庄村	安芸郡熊野村 安芸郡平谷村川角村
さかちょう 坂町	昭和25年8月1日 町制施行 昭和59年1月1日 字板見地先の公有水面の一部区域を広島市へ分離 広島市安芸区矢野西二丁目地先の公有水面の一部区域を編入	安芸郡坂村	安芸郡坂村
やまがたぐん 山県郡 あきおおたちょう 安芸太田町	平成16年10月1日 加計町（昭和31年9月30日加計町〔明治31年2月10日町制施行〕〔昭和29年8月1日加計町・殿賀村を廃し、その地域をもって新たに加計町設置〕・安野村を廃し、その地域をもって新たに加計町を設置） 筒賀村 戸河内町（昭和31年9月1日戸河内町〔昭和8年8月1日町制施行〕・上殿村を廃し、その地域をもって戸河内町を設置） 以上3か町村を廃し、その地域をもって安芸太田町を設置	山県郡加計町 〃 殿賀村 〃 安野村 〃 筒賀村 〃 戸河内村 〃 上殿村	山県郡加計町津浪村 〃 下殿河内村下筒賀村 〃 穴村坪野村 〃 中筒賀村上筒賀村 〃 戸河内村 〃 上殿村
きたひろしまちょう 北広島町	平成17年2月1日 芸北町（昭和31年9月30日八幡村〔昭和28年12月1日島根県那賀郡波佐村大字波佐字滝平の区域の一部を編入〕・雄鹿原村・中野村・美和村〔昭和3年4月1日名称変更〕を廃し、その地域をもって芸北町設置） 大朝町（昭和30年3月31日大朝町〔大正15年1月1日町制施行〕・新庄村を廃し、その地域をもって大朝町設置） （昭和49年4月1日山県郡千代田町大字中山字明地原の区域の一部を編入） 千代田町（昭和29年11月3日八重村〔大正11年1月1日町制施行〕・壬生町〔明治37年5月1日町制施行〕・本地村・南方村・川迫村を廃し、その地域をもって千代田町設置）	山県郡八幡村 〃 雄鹿原村 〃 中野村 〃 山廻村 〃 大朝村 〃 新庄村 〃 八重村 〃 壬生村 〃 本地村	山県郡東八幡原村 〃 西八幡原村 〃 政所村中祖村 〃 雲耕村宮地村 〃 橋山村荒神原村 〃 大利原村南門原村 〃 奥原村才乙村 〃 草安村奥中原村 〃 刈屋形村土橋村 〃 細見村川小田村 〃 溝口村高野村 〃 米沢村大暮村 〃 移原村小原村 〃 大塚村大朝村 〃 筏津村田原村 〃 新庄村宮迫村 〃 岩戸村 〃 石井谷村今田村 〃 有田村後有田村 〃 古保利村寺原村 〃 春木村有間村 〃 壬生村川東村 〃 川西村川井村 〃 惣森村丁保余原村 〃 本地村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	豊平町	(昭和39年 7 月 1 日大字今田字野々瀬の区域の一部を豊平町へ分離)	〃 南方村	〃 南方村木次村
		(平成10年12月 1 日大字今田字野々瀬の区域の一部を豊平町へ分離)	〃 川迫村	〃 川戸村蔵迫村
		(昭和31年 3 月31日吉坂村・原村・都谷村を廃し、その地域をもって豊平町設置)	山県郡吉坂村	〃 中山村舞綱村
		(昭和39年 7 月 1 日千代田町大字今田字野々瀬の一部の区域を編入)	〃 原村	山県郡今吉田村阿坂村
		(平成10年12月 1 日千代田町大字今田字野々瀬の一部の区域を編入)		〃 吉木村
	以上 4 か町を廃し、その地域をもって北広島町を設置			〃 中原村海応寺村
			〃 都谷村	〃 西宗村上石村
				〃 下石村志路原村
				〃 都志見村戸谷村
				〃 長笹村
とよたぐん 豊 田 郡 おおさきかみじま ちょう 大崎上島町	平 成 15 年 4 月 1 日 大崎町	(昭和30年 3 月31日西野村・中野村を廃し、その地域をもって大崎町設置)	豊田郡西野村 〃 大崎中野村	豊田郡大串村原田村 〃 大崎中野村
	東野町	(大正 9 年 1 月 1 日東野村から字道中等の区域を分離、昭和39年 4 月 1 日町制施行)	〃 東野村	〃 東野村
	木江町	(大正 9 年 1 月 1 日東野村字道中等の区域・中野村字野賀等の区域を分離して木江町を設置)	〃 大崎南村	〃 沖浦村明石方村
	以上 3 か町を廃し、その地域をもって大崎上島町設置	(昭和30年 3 月31日木江町・大崎南村を廃し、その地域をもって新たに木江町を設置)		
せらぐん 世羅郡 せらちょう 世羅町	平 成 16 年 10 月 1 日 甲山町	(明治31年 2 月10日町制施行)	世羅郡甲山村	世羅郡甲山村西上原村 〃 小世良村 〃 小谷村松崎村
		(昭和30年 2 月11日甲山町、三川村、東村、御調郡宇津戸村の区域を廃止、その地域をもって新たに甲山町設置)	〃 三川村	
			〃 東村	〃 川尻村伊尾村 〃 別迫村青近村 〃 赤屋村
		(昭和32年 6 月10日大字松崎の区域を甲奴郡上下町へ分離)	御調郡宇津戸村	御調郡宇津戸村
	世羅町	(昭和31年 1 月10日大見村、西大田村、東大田村の区域を廃止、その地域をもって世羅町設置)	世羅郡大見村	世羅郡戸張村安田村 〃 徳市村
			〃 西大田村	〃 賀茂村中原村 〃 青水村重永村 〃 田打村京丸村 〃 堀越村
		(昭和31年 1 月15日津久志村〔昭和30年 3 月31日世羅西町設置のため分離した残部〕を編入)	〃 東大田村	〃 本郷村井折村 〃 寺町村青山村 〃 東神崎村三郎丸村 〃 西神崎村
		(昭和32年 1 月10日大字徳市の区域の一部を双三郡吉舎町へ分離)	〃 津久志村	〃 黒淵村津口村
		(昭和32年 6 月10日大字松崎の区域を甲奴郡上下町へ分離)		
		(平成 2 年 3 月20日大字津口字大畑の区域の一部を世羅西町へ分離)		
		(平成 2 年 3 月20日世羅西町大字小国字二反田の区域の一部を編入)		

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況		明治22年大合併当時の市郡町村	明治21年当時の郡町村
	世羅西町	（昭和30年 3 月31日津久志村大字山中福田の区域、小国村、津名村大字下津田・上津田・長田の区域、吉川村のうち豊田群豊栄町へ編入以外の区域〔吉川村は昭和15年 7 月12日上山村大字上壺字鎌木の区域の一部を編入し、同日大字黒川字鎌木の区域の一部を上山村へ分離〕を廃止、その地域をもって世羅西町設置） （昭和58年 3 月 1 日大字中字国実通の区域の位一部を双三郡三和町へ分離） （昭和58年 3 月 1 日双三郡三和町大字上壺字彌波羅・中山の区域の一部を編入） （平成 2 年 3 月20日大字小国字二反田の区域の一部を世羅町へ分離） （平成 2 年 3 月20日世羅町大字津口字大畑の区域の一部を編入） （平成 6 年12月14日大字小国字南山の区域の一部を大和町へ分離） （平成 6 年12月14日大和町大字篠の区域の一部を編入） 以上 3 か町を廃し、その地域をもって世羅町設置	世羅郡津久志村 〃 小国村 〃 津名村 〃 吉川村	世羅郡山中福田村 〃 津口村黒瀬村 〃 小国村 〃 下津田村上津田村 〃 長田村敷名村 〃 吉原村中村 〃 黒川村
じんせきぐん 神石郡 じんせきこうげん ちょう 神石高原町	平 成 16 年 11 月 5 日 油木町	（大正 6 年 8 月 1 日町制施行） （昭和30年 4 月 1 日油木町・小野村・新坂村大字新免・三坂の区域の各一部を廃し、その地域をもって油木町設置） （昭和31年 3 月31日仙養村〔昭和30年7月11日上野村・近田村・花済村・季村を廃し・その地域をもって設置〕・油木町を廃し、その地域をもって油木町を設置） （昭和29年11月 3 日高光村〔昭和18年 4 月 1 日高光村・古川村を廃し、その地域をもって設置〕・牧町〔昭和15年11月10日牧村・福永村・草木村・田頭村を廃し、その地域をもって設置〕を廃し、その地域をもって神石町設置） （昭和30年 3 月31日永渡村を編入） （昭和30年 7 月 1 日上豊松村・下豊松村・中平村・有木村・笹尾村を廃し、その地域をもって豊松村設置） （昭和30年 3 月31 日来見村・小畠村〔昭和17年 4 月 1 日小畠村・亀石村・阿下村・上村・常光村を廃し、その地域をもって設置〕・高蓋村〔昭和19年 1 月 1 日高蓋村・父木野村・木津和村・光末村・光信村を廃し、その地域をもって設置。昭和24年 7 月 1 日芦品郡大正村大字桑木の区域を編入。昭和29年 3 月31日甲奴郡階見村大字上組の区域を編入〕を廃し、その地域をもって三和町設置）	神石郡油木町 〃 上野村 〃 近田村 〃 花済村 〃 季村 〃 高光村 〃 古川村 〃 牧村 〃 福永村 〃 草木村 〃 田頭村 〃 永渡村 〃 上豊松村 〃 下豊松村 〃 中平村 〃 有木村 〃 笹尾村 〃 来見村 〃 小畠村 〃 亀石村 〃 阿下村 〃 上村 〃 常光村 〃 高蓋村 〃 父木野村 〃 木津和村 〃 光末村 〃 光信村	神石郡油木町安田村 〃 上野村 〃 近田村 〃 花済村 〃 季村 〃 高光村 〃 古川村 〃 牧村 〃 福永村 〃 草木村 〃 田頭村 〃 相渡村永野村 〃 上豊松村 〃 下豊松村 〃 中平村 〃 有木村 〃 笹尾村 〃 坂瀬川村時安村 〃 井関村大矢村 〃 小畠村 〃 亀石村 〃 阿下村 〃 上村 〃 常光村 〃 高蓋村 〃 父木野村 〃 木津和村 〃 光末村 〃 光信村

現在の市郡町	明治23年以降の廃置分合及び境界変更の状況	明治22年大合併当時の市 郡町村	明治21年当時の郡町村
	(昭和34年 7 月 1 日 芦品郡藤尾 村字萩原・柳峠・道岩・犬塚・ 大平・石屋・重松・鞆原・江 立・坂の区域および字元重・新 重佐鞆の区域の一部を編入) 以上 4 か町村を廃し、その地域をもって神石高原町設置	芦品郡藤尾村	芦品郡藤尾村

資料：県市町行財政課